

# はじめて申告される場合の記載例

提出用はコンピューターへのデータになりますので、数字は枠中にていねいに記入してください。

■部分は、記入の必要はありません。

◎耐用年数にご注意ください！！  
平成21年度に機械及び装置を中心に耐用年数の見直しが行われました。例えば、田植機についても従来は5年でしたが7年に改正されています。

**提出用**

令和2年度

種別別明細書(増加資産・全資産用)

所有者コード		所有者名										1枚のうち				
		人吉 太郎										1枚目				
行 番 号	資産 の 種 類	資産コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額	耐用 年 数	減価 残 存 率	価 額	課税標準額の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1		駐車場(アスファルト舗装)	1	平成 令和	20	01	2,000,000	10						1. 2 3. 4	
02	2		コンプレッサー	1	平成 令和	17	01	600,000	7						1. 2 3. 4	平成31年4月1日熊本 本店より移動
03	6		クーラー	1	平成 令和	18	10	300,000	6						1. 2 3. 4	
04	6		コピー機	1	平成 令和	19	01	400,000	5						1. 2 3. 4	3年落ち
05	2		田植機(歩行型)	1	平成 令和	31	04	300,000	7						1. 2 3. 4	
06	2		太陽光発電システム	1	平成 令和	1	06	9,000,000	17						1. 2 3. 4	
07															1. 2 3. 4	

■部分は、記入の必要はありません。

◎資産の種類

- 1: 構築物
- 2: 機械及び装置
- 3: 船舶
- 4: 航空機
- 5: 車両及び運搬具
- 6: 工具器具及び備品

※該当する番号を記入してください

◎数量について

数で表せるもののみ記載してください(部、一式等は不要)

◎取得年月日について

資産を実際に取得した年月を記載してください。  
なお年号の欄は平成・令和のいずれかを○で囲んでください。

◎取得価額について

当該資産の取得価格を記載してください。  
なお、「取得価格」は、償却資産を取得するために通常支出すべき金額(当該償却資産の取引運賃、荷役代、運送保険料、購入手数料、関税、据付工事費用、その他当該償却資産を事業の用に供するために直接要した費用を含む)をいいます。  
また、法人税法及び所得税法の規定における、いわゆる圧縮記帳については、償却資産の評価上認められておりませんので、該当圧縮額を含めた実際の取得価額を記載してください。

◎増加事由

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 移動による受入
- 4 その他

※増加事由の該当する番号を○で囲んでください

◎中古取得の場合は備考の欄に何年落ちかを記入してください。

◎中古取得の場合、最低耐用年数は2年までとなっております。